

施策評価(平成30年度)

1 基本項目

基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち
基本施策	1	ともに作る住みよい地域社会の実現
施策	16	防犯
基本方針		
行政、市民、事業者およびNPO法人などが連携した防犯体制の充実を図り、犯罪のないまちを目指します。		

2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
特殊詐欺対策の強化	計画どおり完了	A	A	S	現状のまま継続
防犯活動の支援と連携の強化	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
街路灯の整備	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続

3 施策評価結果

<p>施策16「防犯」では、3事業について評価を実施した。</p> <p>進捗状況については、すべて「計画どおり完了」であり、滞りなく履行されている。</p> <p>各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)については、すべてA(適切なもの)と評価している。</p> <p>有効性(成果)については、「特殊詐欺対策の強化」においては、自動通話録音機の貸与が計画値を大きく上回り、詐欺等の被害の未然防止につながったと捉えていることから、S(より適切なもの)と評価しており、その他の2事業については、A(適切なもの)と評価している。</p> <p>本施策の基本方針は、「防犯体制の充実を図り、犯罪のないまちを目指す」ことであり、「特殊詐欺対策の強化」においては、自動通話録音機を設置を普及することで、詐欺等の被害の未然防止につながっているほか、「防犯活動の支援と連携の強化」においては、市民パトロールなどの主体的な防犯活動を支援することで、犯罪発生件数の減少につながっているものと捉えている。</p> <p>また、「街路灯の整備」においては、街路灯のLED照明への取替え等の実施により、交通安全対策と防犯対策に一定の効果を発揮したものと捉えており、上記の取組みを通じて、施策に掲げた基本方針の達成に向けて着実な推進が図られたものと評価する。</p>
--

1.基本項目		作成部署	市民生活部			防災安全課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 特殊詐欺対策の強化		平成 27 年	継続	自治事務(市独自)	直営	
01		年				
02		年				
03		年				
04		年				
05		年				
関連課	産業振興課					
基本目標3	ふれあいと活力あふれるまち	施策区分	16	防犯	管理No.	79

2.事業の概要

施策の基本方針	行政、市民、事業者およびNPO法人などが連携した防犯体制の充実を図り、犯罪のないまちを目指します。
事業内容	特殊詐欺等の犯人からの電話に対し、自動通話録音機を活用して被害を未然に防止します。
根拠法令	
条例	
要綱等	羽村市特殊詐欺対策における自動通話録音機貸与事業実施要綱

3.実施計画

Plan(計画)	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	自動通話録音機無償貸与の実施 平成29年度貸与台数 86台 (平成29年12月末現在)	自動通話録音機購入 (300台) 同左 貸与台数目標 150台	特殊詐欺対策の検討 同左 貸与台数目標 150台	検討結果の反映

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1 人	520 H	1 人	560 H	1 人	600 H	1 人	600 H
主事・主任職	1 人	560 H	1 人	600 H	1 人	640 H	1 人	640 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	10	1,987	10	10
人件費(係長職)	2,585	2,784	2,983	2,983
人件費(主任・主事職)	1,865	1,998	2,131	2,131
総事業費(合計)	4,460	6,769	5,124	5,124
国庫支出金				
都支出金		1,977		
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	4,460	4,792	5,124	5,124
財源内訳(合計)	4,460	6,769	5,124	5,124

③コスト計算

ア 市民	55,710	人における1人あたりのコストは、	122	円		
イ 対象者	6,000	人における1人あたりのコストは、	1,128	円		
ウ 成果(物)	自動通話録音機	の 出来高	150 個	における1 個 のコストは	45,127	円

※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
--	-------------------------------	-----------

②活動実績

特赦詐欺防止に向けて、高齢者が集まる会議やイベントに率先して出向き、チラシ等を配布するとともに、広報媒体などを活用し、自動通話録音機の設置促進に努めた。
 ○民協全体会議において、自動通話録音機の貸与申請について説明
 ○高齢者クラブ理事会において、自動通話録音機の貸与申請について説明
 ○夏まつり会場において、自動通話録音機の貸与申請について説明
 ○神明台上町内会の出前講座において、自動通話録音機の貸与申請について説明

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	1,987		1,987	1,987	100.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	560 H	1人	560 H
主事・主任職	1人	600 H	1人	600 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○自動通話録音機購入 300台 ○貸与台数目標 150台		○自動通話録音機購入 300台 ○貸与台数 256台

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input checked="" type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	S

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

全国的に被害が頻繁に発生している、電話での特殊詐欺について、高齢者世帯に自動通話録音機を設置することで、詐欺等の被害の未然防止につながっている。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

羽村市における特殊詐欺の発生件数及び被害金額は、H28 8件/62,345千円、H29 13件/25,802千円、H30 11件/8,460千円 となっており、発生件数については横ばいであるが、被害金額は大幅に減少している。今後も自動通話録音機を高齢者世帯に広く配布することで、特殊詐欺被害の減少へつなげていく。
 また、警察と連携して、年々巧妙化している特殊詐欺等の新たな手口の情報を収集し、広報媒体などを活用し適宜市民へ周知する。

1.基本項目		作成部署	市民生活部			防災安全課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 防犯活動の支援と連携の強化		不明	年	継続	自治事務	業務委託(一部)
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	16	防犯	管理No.	80

2.事業の概要

施策の基本方針	行政、市民、事業者およびNPO法人などが連携した防犯体制の充実を図り、犯罪のないまちを目指します。
事業内容	各種防犯関係団体が交代制で重点的にパトロールを実施する年末防犯・交通安全・火災予防パトロール週間に取り組みとともに、市民パトロールなどの主体的な防犯活動を支援します。また、市民パトロールセンターを拠点に、各関係団体の活動が効率的に行えるよう連携の強化を図ります。
根拠法令	
条例	羽村市防犯、交通安全及び火災予防に関する条例
要綱等	

3.実施計画

Plan(計画)	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	NPO法人市民パトロールセンターはむらによる、パトロールセンターの運営支援	同左	同左	同左
	防犯等関係団体連絡会の開催 2回	同左 2回	同左 2回	同左 2回
	年末防犯・交通安全・火災予防パトロール週間の実施 1回	同左 1回	同左 1回	同左 1回

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	560H	1人	560H	1人	560H	1人	560H
主事・主任職	1人	440H	1人	440H	1人	440H	1人	440H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	9,716	9,829	9,829	9,829
人件費(係長職)	2,784	2,784	2,784	2,784
人件費(主任・主事職)	1,465	1,465	1,465	1,465
総事業費(合計)	13,965	14,078	14,078	14,078
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	13,965	14,078	14,078	14,078
財源内訳(合計)	13,965	14,078	14,078	14,078

③コスト計算

ア 市民 55,710 人における1人あたりのコストは、 253 円
 イ 対象者 55,710 人における1人あたりのコストは、 253 円
 ウ 成果(物) 犯罪発生件数 の 出来高 における1 のコストは #DIV/0! 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

NPO法人市民パトロールセンターはむらに対し、運営支援を行った。また、防犯協会羽村支部と連携し、防犯意識の向上のため、イベント会場での防犯啓発活動や金融機関での振り込み詐欺防止キャンペーンを実施した。
さらに、防犯等関係団体連絡会を開催し、年末防犯・交通安全・火災予防パトロール週間について協議し、併せて小作駅東口でパトロール出発式を行った。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	9,829		9,829	9,828	100.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	560 H	1人	560 H
主事・主任職	1人	440 H	1人	440 H

④事業量(活動量)

実施計画	→	今年度実績
○防犯等関係団体連絡会の開催 2回 ○年末防犯・交通安全・火災予防パトロール週間の実施 1回		○防犯等関係団体連絡会の開催 2回 ○年末防犯・交通安全・火災予防パトロール週間の実施 1回

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法性) <input type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

各種防犯関係団体が交代制で重点的にパトロールを実施する年末防犯・交通安全・火災予防パトロール週間に取り組むとともに、市民パトロールなどの主体的な防犯活動を支援することで、犯罪発生件数の減少へつながっている。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

今後も、犯罪が起こりにくい環境をつくるため、市、市民、事業者が協力・連携し、一丸となった防犯活動を実施していく。また、パトロール参加者を増やすため、各種防犯関係団体と連携し、参加者を増やしていく。

1.基本項目		作成部署	都市建設部			土木課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 街路灯の整備			年			
01	街路照明施設改修工事(取替)	平成 26 年	その他	自治事務(市独自)	業務委託(一部)	○
02	道路照明灯設置工事(新設)	不明 年	継続	自治事務(市独自)	業務委託(一部)	○
03	街路照明灯修繕(補修)	不明 年	継続	自治事務(市独自)	業務委託(一部)	○
04						
05						
関連課						
基本目標3 ふれあいと活力あふれるまち		施策区分	16	防犯	管理No.	81

2.事業の概要

施策の基本方針	行政、市民、事業者およびNPO法人などが連携した防犯体制の充実を図り、犯罪のないまちを目指します。
事業内容	街路灯の計画的な点検・補修・整備により、犯罪発生を抑止します。また、新たな街路灯の設置について、検討します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成29年度(現況)	3か年計画		
		平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業内容 事業量等	街路灯の取替、新設、補修	同左	同左	同左
	街路灯(LEDへの取替) 510基	同左 20基	同左 262基	同左 262基
	街路灯(LEDの新設) 3基	同左 5基	同左 5基	同左 5基

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成29年度(現況)		平成30年度		平成31年度		平成32年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	2人	8H	2人	8H	2人	8H	2人	8H
主事・主任職	2人	450H	2人	450H	2人	450H	2人	450H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成29年度(現況)	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業費	50,062	6,300	29,452	29,452
人件費(係長職)	80	80	80	80
人件費(主任・主事職)	2,997	2,997	2,997	2,997
総事業費(合計)	53,139	9,377	32,529	32,529
国庫支出金				
都支出金	234	250	250	250
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金	15,000	2,800		
起債				
一般財源(人件費含む)	37,905	6,327	32,279	32,279
財源内訳(合計)	53,139	9,377	32,529	32,529

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の 出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

市民や防犯パトロール等からの連絡により、262件の街路灯修繕を実施するとともに、「道路照明灯施設における省エネルギー型機器導入に関する整備計画」に基づき、羽東三丁目(稲荷緑地周辺)の街路灯13基について、LED照明への取替を実施した。また、市民等からの街路灯の設置要望のあった74箇所について、夜間調査を実施し、特に交通安全及び防犯上必要な箇所にLED照明を5基新設した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	6,300	836	7,136	6,977	97.8%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	2人	8H	1人	4H
主事・主任職	2人	450H	1人	30H

④事業量(活動量)

実施計画	今年度実績
○街路灯(LEDへの取替) 20基 ○街路灯(LEDの新設) 5基	○街路灯(LEDへの取替) 13基 ○街路灯(LEDの新設) 5基

Check【評価】

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法性) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果性) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

「道路照明灯施設における省エネルギー型機器導入に関する整備計画」に基づき、街路灯のLED照明への取替え等を実施し、交通安全と防犯対策の上で、一定の効果を発揮していると考えている。

Action【改善】

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

街路灯の計画的な点検・整備を行い、歩行者・自転車及び自動車の夜間通行の安全・安心な道路利用と犯罪発生を抑止を図る。また、街路灯のLED化を実施し、整備計画に基づき維持管理経費と電気料の削減を図る。LED照明への取替えは、計画に基づき実施しているが、今後発生する維持管理について平準化していくため、計画の変更を検討する。